

羽ばたけ

平成29年8月28日 <第8号>

小清水小学校のあゆみ（通知票）

小清水小学校長 可児 隆洋

教科	取り組みのねらい	A 教員の自己評価	B 教員が見た児童の現状	C 児童の自己評価
学習・授業	①授業準備（次の授業の準備をしてから、休み時間にする）	77	70	90
	②学習規律の確立（あいさつ・机上整理・姿勢等）			
	③分かりやすい言葉（合い言葉、スローガン等）で指導の徹底			
学習過程	④学習の見通しを持つことのできる単元構成の工夫。	68	62	87
	⑤問いが生まれる・切実感や必要性のある課題づくり			
	⑥自分の考えを書いたり、話し合ったりする場の充実			
	⑦何を学んだのかを実感できる学習のまとめ			
生活・教室環境	⑧時間や時刻を守る（チャイムが鳴る前に教室で待つ）	81	71	88
	⑨あいさつ返事をきちんとする			
	⑩丁寧な言葉使いを心がける			
	⑪身の回りの整理整頓をする			
	⑫約束や決まりを守る			
家庭連携	⑬家庭学習（学習時間を学年×10+10分に設定）の実践	73	72	81

小清水小学校の先生方の指導について通知票（あゆみ）にしてみました。評価の項目は、小清水スタンダードをもとにしています。取り組みのねらいを達成させるために、先生方は自らの指導について一ヶ月毎に点検と改善を繰り返しています。毎月の先生方の自己評価を集計したのがこの通知票（あゆみ）です。

この通知票には3つの評価があります。AとBは、先生方自身の取り組み（教員の自己評価）と、子ども達の達成具合（教員から見た児童の現状）を100点満点で評価したものです。Cは児童の自己評価（児童が自身を評価したもの）として夏休み前に実施したものです。

内容を見てください。**学習・授業（①～③）**と**生活・教室環境（⑧～⑫）**は学習規律と生活規律に関する評価で、当たり前なことをどれだけ当たり前でできるかという内容です。先生方から見れば、「まだまだ指導はもう一息」と感じていますが、子ども達は「頑張っている・できている」と感じているようです。**学習過程（④～⑦）**は、先生方の「授業づくり」に関する項目です。子ども達にとって、「わかる・たのしい授業」ができているかの評価です。先生方の自己評価の数値は低く示されています。しかし、子ども達にとっては、先生方が思うほど「わかりにくい授業」にはなっていないようです。**家庭連携**は家庭学習の1項目しかありません。今後、家庭学習についてどのように家庭と連携していくのかをご提案します。2学期はこの項目を増やしてご報告できると思います。

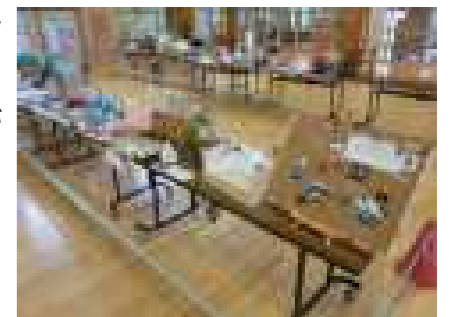
子ども達のあゆみは、目標が85%達成されたら「◎」としています。先生方も「◎」をめざしますが、85%で満足するわけにはいかないのが学校教育です。子どもが20人いたら20人が「わかった」「できた」と感じられる指導をめざします。まずは、児童の自己評価が100点となるよう、2学期も努めてまいります。

日	曜日	行事予定	下校バス	
			14:45 14:50(金)	16:00 16:10(金)
1	金	修学旅行（6年）2日目	○	16:10
2	土			
3	日	開校記念日		
4	月	全校朝会 研修日 避難訓練週間	○	○
5	火	クラブ	○	○
6	水	フッ化物洗口	○	○
7	木	体カテスト1・2年生 永井さん読み聞かせ 第3回広報委員会	○	○
8	金	6年中学校登校日	○	16:10
9	土			
10	日	第20回小学校バンドフェスティバル北見地区大会		
11	月	委員会活動	○	○
12	火	幼稚園年長社会科見学(バス)	○	○
13	水	研修日 フッ化物洗口	○	○
14	木		○	○
15	金		○	16:10
16	土	東部地区PTA連合会研究大会(大空町)		
17	日			
18	月	敬老の日		
19	火	後期児童会役員選挙	○	○
20	水	支援委員会 フッ化物洗口	○	○
21	木	永井さん読みきかせ 中斗美保育所遠足(5年生と交流)	○	○
22	金	6年中学校登校日 薬物乱用防止教室	○	16:10
23	土	秋分の日 第36回北海道小学校バンドフェスティバル		
24	日			
25	月	委員会活動	○	○
26	火	教育相談(~10/13)	○	○
27	水	職員会議 フッ化物洗口	○	○
28	木	サポートタイム	○	○
29	金		○	16:10
30	土			

8月21日(月)から31日(木)まで、多目的ホールにおいて「夏休み作品展」を行いました。

細かい作業を根気強くがんばった作品、アイデアが優れた作品など力作ぞろいでした。

いろいろな作品をヒントにして、今後の作品づくりに生かしてもらいたいと思います。



写真で見る小清水小の子ども達<7月>

◆ 縄跳び検定（7月10日）

普段からの成果を試すために体育館の検定にいきます。毎回大勢の子ども達が挑戦しています。20級の「2拍子とび」から始めて、前とび、後ろとび、あやとび、かけ足とびができないと10級はもらえません。交差3重とび、あや2重とびの前回しと後ろ回しまで出来るようになると1級がもらえます。



◆ 真夏日

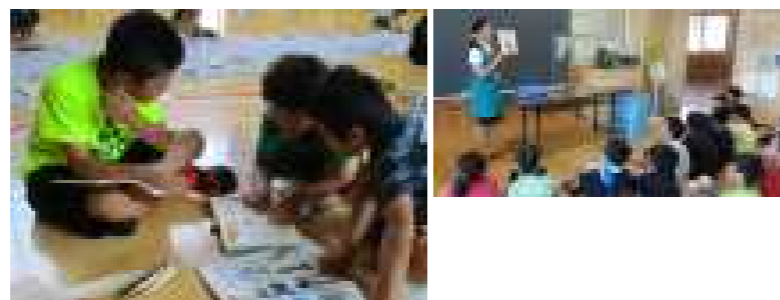
教室の室温は30度前後、窓を開けても熱風しか入らない日が続きました。それでも子ども達は、保健室で休む子も無く、元気に外で遊んでいました。



◆ ブックトーク

ブックフェスティバル（7月13日・14日）

町立小清水図書館の司書さんに来ていただき、ブックトークとブックフェスティバルが開かれました。最初は司書さんの読み聞かせや説明があり、楽しいお話には笑い声が、初めて知ったことには感心した声が聞こえていました。その後は、興味に応じて自分で本を選びました。本の楽しさに気づき、もっと読んでみようという気持ちが湧いてきたようです。



◆ お話しポエム（7月19日）

暑い夏にはぴったりの怖い話の読み聞かせを企画していただきました。ホールに何カ所も読み聞かせコーナーをつくり、子ども達は興味に応じて聞きにきました。中でも人気があったのが、「あずきとぎ」で表紙からいかにも怖い話です。他にもいろいろなお話があって、子ども達からは、また読み聞かせしてほしいと好評でした。

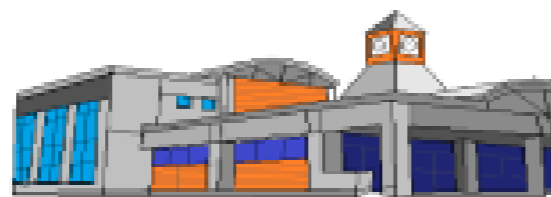


「写真で見る小清水小の子ども達」はホームページで閲覧できるコーナーです。学校だよりも載らない小さな出来事も記事になっていることがあります。

小中一貫に関するページも出来上がりました。基本的な考え方、取り組みの様子等をぜひごらん下さい。

小清水小学校ホームページ

<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/e>



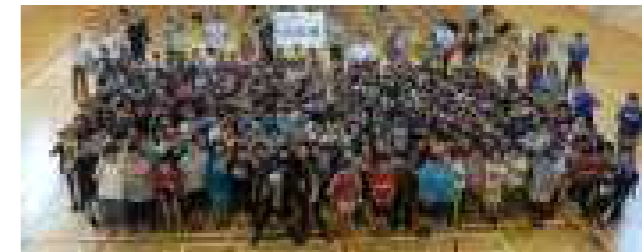
VOICE（ボイス）のお二人と音楽交流

校歌を作詞・作曲したVOICE（ボイス）のお二人が来校しました（7月19日）。

VOICEのお二人は歌だけでは無く、お話も上手です。子どもの頃のギターと歌との出会いから、好きなものに熱中して、大人になってもあきらめずに挑戦し続けて、夢をかなえた話をしていただきました。とにかく好きなことならとことん頑張ってみようというメッセージが伝わりました。

今まで、いろいろな人との出会いがあり、小清水小学校の校歌を作ることに、つながったそうです。人と人との出会いや支え合いを大切に、仲間を大切にしていってほしいというお話もしていただきました。

最後に全校児童からのお礼として、校歌を金管バンドの伴奏で歌いました。いつも以上に元気な歌声と金管バンドの演奏は、校歌を作っていただいたVOICEのお二人への感謝の気持ちとして伝わっていたようです。



小中一貫教育 スタート！

8月17日、夏休みの最後の日。小学校と中学校の先生方が集まって、合同研修会を開きました。今日のテーマは、小清水の子ども達が苦手にしていく学習内容を小学校と中学校で分析して改善策をたてることです。小中の先生方が各専門教科に分かれて「限定的な場面」で「具体的な対策」を立てました。

先生方は一貫校であること、9年間を通して児童生徒を育てる使命があることをあらためて認識できる研修になりました。ここで話された具体策については、別の機会にあらためて保護者・地域の皆様にお知らせいたします。



子ども達は実験が楽しい！
だけで終わってしまうことが多いですよね…。本来、理科の実験は、何を確かめたいのか、どうやって確かめるのか、なぜ、この結果になったのかを大事にしたいんですよ…。

小学校でリコーダー以外の楽器にふれさせられるような時間配分ができないですかね。
それに、低学年のうちからリズム打ちや階名に馴染ませてもらえればすごく助かりますね。



音楽部会と理科部会の様子